分野	33	生涯学習・文化・スポーツ
施策	333	スポーツの振興
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
総合型地域スポーツクラブ推進事業	一般	10	5	1	8,950,049	文化・スポーツ振興室

事業の概要

生涯スポーツ社会の実現のため、全ての小学校区での総合型地域スポーツクラブの設立に向けた支援を行います。

平成28年度の取組

D（取組）

指標	総合型地域スポーツクラブの設立数					単位	小学校区
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
5（平成26年度）	目標	6	7	8	9	10	
	実績	6					

・総合型地域スポーツクラブの創設に向けて取り組んでいる校区準備委員会に対し、創設準備として１団体に８万円を補助し、クラブの創設に向けた支援を行いました。また、平成27年度に設立した総合型地域スポーツクラブに対し、創設活動として150万円を補助し、クラブの安定した運営基盤づくりを支援しました。
・地域スポーツ振興の拠点となるクラブハウスについては、長十小校区の新設クラブハウスの実施設計、長九小校区の改修実施設計を行いました。
・スポーツに親しむ行事等の実施を各校区に委託することにより、地域スポーツの振興を図りました。

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成28年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	—	—	—

達成度合	A：目標を達成又は上回って達成できた（目標の100%以上）	達成状況	・現在、長法寺小学校、長岡第四小学校、長岡第五小学校、長岡第七小学校、長岡第九小学校、長岡第十小学校の６つの校区で総合型クラブが設立されています。 ・長岡第三小学校では、平成29年度の設立に向け活動されています。
課題等	・地域住民が総合型地域スポーツクラブの設立意義を理解し、組織の設立や実施意欲を高めるための活動が必要です。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・総合型地域スポーツクラブが未設置の小学校区関係者に対し、クラブの意義を広く啓発することでクラブ設立に対する理解を深めます。 ・地域スポーツのあり方を考える「総合型地域スポーツクラブ準備委員会」の母体づくりを支援します。 ・新たに総合型地域スポーツクラブを設立した校区に対し、活動拠点となるクラブハウスを設置することでクラブの設立意欲を高めます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ
施策	333	スポーツの振興
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。

概要

	実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
		会計	款	項	目		
P（概要）	**スポーツ交流推進事業**	一般	10	5	1	10,227,460	文化・スポーツ振興室

事業の概要

市民が地域で運動やスポーツに親しむ全市的なイベントを開催します。
また、小中学校の体育施設を開放し、運動やスポーツのできる環境の確保に努めます。

平成28年度の取組

D（取組）	指標	学校開放利用件数					単位	件
	現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
	9,805（平成26年度）	目標	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	
		実績	9,283					

・市民大運動会を全校区一斉に開催しました。
・市民スポーツフェスティバルを開催し、市民が運動・スポーツに親しむ機会を提供しました。
・小中学校施設を開放し、市民がスポーツをする機会を提供しました。
・スポーツに親しむ行事等の実施を各校区に委託し、地域スポーツの振興を図りました。

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成28年度の達成状況

C（評価）	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
	達成度合	B：目標をほぼ達成できた（目標の80%～100%程度）	達成状況	・小中学校施設の開放では、工事に伴い利用できない校区・期間があったため、利用件数が例年と比較して減少しました。 ・市民がスポーツに親しむため、全市的なイベントを開催しました。 ・市民大運動会では、全校区一斉に開催し、約１万人の市民がスポーツに親しみました。 ・市民スポーツフェスティバルでは、個人開放や体力測定、総合型フェスティバルを開催し、市民がスポーツできる場を提供しました。
	課題等	・市民大運動会の参加者が減少傾向にあります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）	方向性	対応策等
	１：計画通りに進めることが適当	・市民大運動会の参加者を増やすため、全校区共通の競争性あるプログラムを取り入れます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ
施策	333	スポーツの振興
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
若葉カップ全国小学生バドミントン大会支援事業	一般	10	5	1	5,700,000	文化・スポーツ振興室

事業の概要

全国の小学生にバドミントン競技をする機会を広く提供し、交流と友情を深めるために、若葉カップ全国小学生バドミントン大会の実施を支援します。

平成28年度の取組

D（取組）

指標	若葉カップ開催支援の継続					単位	―
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
若葉カップ開催（平成26年度）	目標	若葉カップ開催支援	若葉カップ開催支援	若葉カップ開催支援	若葉カップ開催支援	若葉カップ開催支援	
	実績	若葉カップ開催					

・若葉カップの開催を支援するため、実行委員会へ補助金を交付しました。
・市内の小学校区の総合型クラブ及び学校開放運営協議会に協力を依頼し、大会期間中は、体育館を参加チームの練習会場として確保しました。

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成28年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	―	―	―

達成度合	A：目標を達成又は上回って達成できた（目標の100%以上）	達成状況	・市最大のスポーツ大会である若葉カップ全国小学生バドミントン大会を開催し、長岡京市は「バドミントンのまち」として、本市のイメージを全国発信しました。 ・市内の小学校体育館を、大会期間中の練習会場として確保しました。
課題等	・より一層、市民に認知されるように取組む必要があります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・長岡京市を「バドミントンのまち」として、全国・海外に発信していくため、未来への種まきプロジェクト～小学生バドミントン選手団国際交流事業～を展開します。平成29年度はラオス選手団を招聘します。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ
施策	333	スポーツの振興
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。

概要

	実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
		会計	款	項	目		
P（概要）	**スポーツ活動推進・支援事業**	一般	10	5	1	40,323,000	文化・スポーツ振興室

事業の概要

スポーツ振興を図るため、長岡京市体育協会の活動へ支援を行います。

平成28年度の取組

D（取組）

指標	府民総体予選会参加市民数					単位	人
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
1,146（平成26年度）	目標	1,180	1,210	1,240	1,270	1,300	
	実績	1,067					

・市内スポーツ団体を統括する団体でもあり、行政の役割を補完する団体でもある公益財団法人長岡京市体育協会の組織の基盤強化、加盟団体の育成支援を図るために補助金を交付しました。

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成28年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	―	―	―

達成度合	B：目標をほぼ達成できた（目標の80%～100%程度）	達成状況	・８位に入賞し、常時入賞の目標は達成しました。 ・公益財団法人長岡京市体育協会に対し、補助金の交付及び活動支援を行いました。 ・バドミントンジュニア強化に取組み、若葉カップにおいて男子チームが準優勝という成果を収めました。
課題等	・府民総体予選会の参加者が減少傾向にあります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・参加者が増加するよう、市民や種目団体などに働きかけを行います。 ・府民総体で常時入賞できるように支援します。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ
施策	333	スポーツの振興
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
スポーツ施設環境の整備	一般	8	4	6	440,247,300	文化・スポーツ振興室
	一般	10	5	2	14,710,500	

事業の概要

多くの市民が利用する体育館など、運動・スポーツ施設の環境を改善するため施設整備を進めます。

平成28年度の取組

D（取組）

指標	体育館等施設利用者数（西山公園体育館・スポーツセンター）					単位	人
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
239,289（平成26年度）	目標	252,500	255,000	257,500	260,000	262,500	
	実績	207,930					

・西山公園体育館及び長岡京市立スポーツセンターの管理運営は、指定管理者である公益財団法人長岡京市体育協会が行っています。
・西山公園体育館は、老朽化の進んでいた屋根の改修工事を行いました。また、かねてから要望の多かった、小体育室及び武道場に空調設備を新設したことで、快適なスポーツ環境を整備しました。
・スポーツセンターは、施設改修について検討を始めました。

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成28年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	—	—	—

達成度合	A：目標を達成又は上回って達成できた（目標の100%以上）	達成状況	・西山公園体育館では、大規模な改修工事を行いました。工事のため、２ヶ月間閉館することになり、利用者数が減少しましたが、快適なスポーツ施設の環境整備を行いました。
課題等	・スポーツセンターの老朽化について、一部改修とするのか、敷地全体を再整備とするのか、方向性を決めることが課題となっています。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・西山公園体育館は平成29年度も改修工事を行います。 ・老朽化しているスポーツセンターの施設整備について、検討します。